

第11回東三河サイエンスカフェ 2008年5月15日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス

30周年



国立大学法人豊橋技術科学大学
開学30周年記念事業
—確かな礎から未来へ—



<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

動物？ 植物？ 不思議な生き物「変形菌」

「ヘンケイキン？ 聞いたことないな。」「変な菌？ 菌といえばカビやキノコの仲間？」「どこにいるの？ 何してるの？」...

変形菌は「粘菌」とも呼ばれる生物で、ヒトよりもはるか昔からこの地球上に存在してきました。変形菌という名称は、そのライフサイクルにおいて、巨大なアメーバのように形を変えながら移動する変形体の時期があることに由来しています。雨上がりの森に行くと、倒木の上にもまるでペンキをこぼしたかのように張り付いている変形体をみることができます。その変形体を手で触ってみると、ねばねばで、粘菌という名称にもうなづけます。

別の倒木には、高さが2mm足らずの柄の先にカプセルがくっついた、小さなキノコのようなものがびっしり。触ってみるとカプセルが壊れて粉末が飛び散ります。これは、変形菌のライフサイクルにおいて子実体（しじつたい）と呼ばれているもので、粉末は孢子です。



このように、変形菌の一生には、動き回って微生物を捕食する動物的な時期と、孢子をつくって散布する植物的な時期がみられます。そのため、変形菌は「動物」と「植物」の中間的な生物と考えられてきました。今回のサイエンスカフェでは、この不思議な生き物、変形菌を標本を観察したり、写真をご覧いただきながら、紹介します。

★ゲストスピーカー：

福島 正子 先生
名古屋市立
北高等学校

★先生のご専門：
生物

★先生からの一言：

変形菌はいるかなあ、
と思って倒木に近づいて
みる。運良く見つけると、
これは何という種かな。
珍しい種だといいな。宝
探しのわくわく感と、自
然が多様な生物から成り
立っていることを感じさ
せてくれる変形菌の魅力
をお伝えできれば、と
思っています。

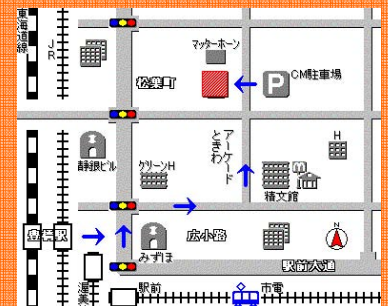
★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。
定員に達し次第しめきります。

事前に参加申込をしてください。

★申込：参加希望の方は、「第11回参加希望」と明記し、「氏名」「年齢」「連絡先（電話番号またはメールアドレス）」をお書きの上、下記のメールアドレスまたはFAXあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局
メール：chiren@office.tut.ac.jp
FAX：(0532)44-6509
申込〆切：5月14日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



★会場（豊橋技術科学大学
豊橋駅前サテライトオフィス）：豊橋駅から、広小路
どおり、ときわアーケード
を通り抜けた先の左側に
あります。駅から徒歩5分。
電話：(0532)55-8252